



## 3月7日 経済観光局

※質問項目のみ掲載します。



## 3月9日 文化スポーツ局

※質問項目と一部質問内容のみ掲載します。

- 六甲山・摩耶山の活性化について
  - (1)六甲山ビジネス拠点の推進について
    - ①「六甲山 森のオフィス」における不動産マッチング実績
    - ②2拠点ワークスタイルの普及促進について
  - (2)特色ある摩耶山の活性化について
  - (3)マウンテンバイクを活用した新たなレジャーについて
- 企業版アーバンイノベーション神戸について
  - (1)市内中堅・大企業の課題の掘り起こしについて
  - (2)市外企業の参加について
- 須磨海釣り公園の活用について

- 自然の家のリニューアルについて
- 王子公園の再整備について
- ポートアイランドスポーツセンターの再整備について
  - 質問:吉田健吾
 

HAT神戸にある「人と防災未来センター」北側の交通広場は暫定利用でタイムパーキングとして使用されている。交通広場機能を維持しつつ、その上に別の機能を持つ施設を建設することが可能であれば、使い道の自由度が出てくるのではないかと。アイススケートやスケートボード、BMX、クライミングなど、新しくオリンピック種目に採用されたスポーツなどの施設に整備し、HAPPY ACTIVE TOWNを代表する、よりアクティブな使い道を検討してはどうか。
- こども本の森 神戸について

# 神戸市政報告

編集・発行: 自由民主党神戸市議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5-1 TEL078-322-5846 <http://www.jimin-kobe.com>

## 自由民主党神戸市議員団 神戸市議員 吉田健吾

灘区版

BE KOBE

本会議場で質問する神戸市議員 吉田健吾

令和4年第1回定例市会で、自由民主党神戸市議員団を代表し、質疑を行いました。ウラ面に議事録(抜粋)を掲載いたしました。ご一読ください。

## 市政報告 令和4年度神戸市予算 「くらしの質」を重視した施策を強化

### SDGsの推進による「海と山が育むグローバル貢献都市」の実現

年初より猛威をふるったオミクロン株による新型コロナウイルス第6波が、ようやく減少傾向といえる段階となりました。1月27日から兵庫県内全域で続く「まん延防止等重点措置」の解消もまもなくといった状況であると思います。しかしながら、三回目ワクチンの接種など、感染予防の徹底をはからなければならないことには変わりはありません。引き続き万全を期して、コロナ禍とその後を見据えた施策に全力で取り組んでまいります。

さて、令和4年第1回定例市会が開催され、私は自由民主党神戸市議員団を代表し、「王子公園再整備について」を始めとする喫緊の重要課題について質疑を行いました。ウラ面に議事録(抜粋)を掲載いたしましたので、ぜひご一読ください。

令和4年度神戸市予算は下記の「7つの柱」に沿って、市民の命と健康を守り、コロナ後の新たな時代をリードする施策を積極的に展開するものとなっています。

限られた予算の中からより良い神戸を未来に残せるよう、さらに努力してまいります。

- ### 7つの柱
- 1.コロナとのたたかいに打ち克つ
  - 2.健康・安全を守る
  - 3.温もりのある地域社会を創る
  - 4.のびやかなくらしと環境を創る
  - 5.力強い神戸経済を創る
  - 6.未来に輝く神戸の街を創る
  - 7.DXの活用による市民参加を進める

## 令和4年度神戸市の予算 海と山が育む グローバル貢献都市の実現

### 予算総額: 1兆8,804億円

(前年比: +273億円)

- 一般会計: 8,869億円(前年比: +165億円)
- 特別会計: 6,605億円(前年比: +70億円)
- 企業会計: 3,330億円(前年比: +38億円)

### 一般会計の支出を 58万円に

市民一人あたりにすると

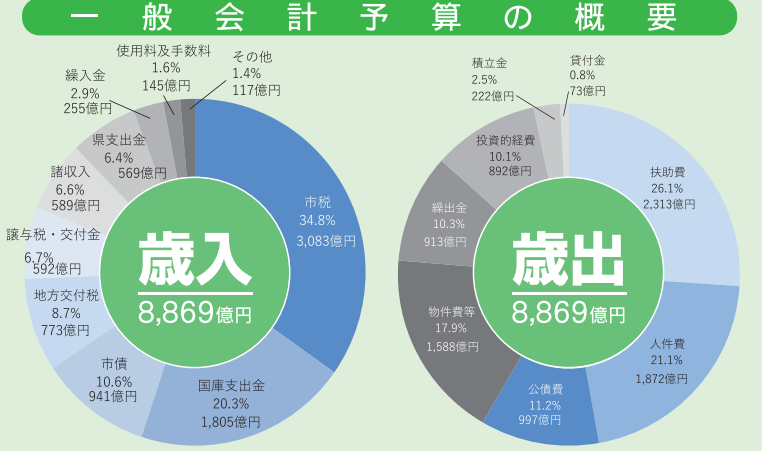
- 一般会計: 8,869億円(前年比: +165億円)
 

福祉、教育、道路・公園の整備など、市の基本的な事業を行う会計です。主に、市税や地方交付税などによってまかなわれます。
- 特別会計: 6,605億円(前年比: +70億円)
 

特定の収入で特定の事業を行う会計です。国民健康保険や介護保険、市営住宅など、神戸市では11会計あります。
- 企業会計: 3,330億円(前年比: +38億円)
 

主に利用者のみなさんが支払う料金収入等で事業を行う会計です。バスや地下鉄、上下水道など、神戸市では7会計あります。

福祉の充実に	教育・文化の振興に	環境・衛生の向上に
約23.7万円	約9.4万円	約5.0万円
道路・公園に	産業の振興に	住宅・まちづくりに
約2.9万円	約0.8万円	約3.1万円
消防・救急に	市会・区役所・市役所の行政の運営などに	市債の返済に
約1.3万円	約5.7万円	約6.6万円



## 3月9日までに議会で示された見解をまとめました。しっかり議論してまいります。王子公園再整備に関する神戸市の見解

自由民主党神戸市議員団からの質問	神戸市の見解
市民の意見を受け、その対応は?	2022.02.24 本会議 吉田健吾議員 市民意見への見解と修正案を出す、まだ対応中である。
素案、ゾーニングの見直しはされるのか?	2022.02.24 本会議 吉田健吾議員 駐車場の位置も含め一定の見直しをする必要がある。再検討していきたい。
廃止される施設、残すことや代替機能についての見解は?	2022.02.24 本会議 吉田健吾議員 遊園地については、公園内に子どもたちが遊べる場所は必要と考える。
大学誘致をするとどのような効果があるのか?	2022.02.24 本会議 吉田健吾議員 見込まれる効果 ①若年人口をさらに流入定着。②優秀な人材の確保、育成、輩出をする場として文教エリアのポテンシャルの引き上げ。③地域商業などへの高い経済効果、にぎわいを創出。④大学の地域活動への貢献。
須磨海浜水族園は民間に、王子動物園は神戸市が直営するのはどんな考え方で判断しているのか?	2022.02.24 本会議 河南ただかず議員 全国的に水族園は民間で運営されている状況をふまえ、魅力を増し集客を図るため民設民営。動物園は社会教育施設として神戸市が責任をもって運営する。
入園料金も低廉なものにすべき。	2022.02.24 本会議 河南ただかず議員 利用しやすい料金につとめる。
市民への情報発信と対話をどうするのか?	2022.03.01 予算特別委員会 植中雅子議員 ホームページを活用し情報発信していく。まずはパブリックコメントに対する市の考え方を説明し、その次のステップとして対話を重視しながら進めていきたい。
どんな大学が来るか分からないのに進めるのはいかがなものか?	2022.03.01 予算特別委員会 五島大亮議員 大学の意向調査をすることも可能だが、ゾーニングや面積が固まらないと大学側も意向が示すことができない。まずはゾーニングである。素案を固めたい。
阪神淡路大震災の教訓を活かして災害時対応拠点としての機能は?	2022.03.09 予算特別委員会 吉田健吾議員 王子公園の広域防災拠点等としての位置づけはそのまま。
王子スポーツセンター(体育館)再整備の検討はされたのか?	2022.03.09 予算特別委員会 吉田健吾議員 市内の体育館の中では、まだ使用していける部類なのでそのまま使用する方針となった。

神戸市 KOBETA 新型コロナウイルス ワクチン接種

3月27日まで 「予約なし」接種

ハーバーランドセンタービル 会場限定

予約は不要ですが、接種券と本人確認書類が必要です。

### 神戸市新型コロナウイルスワクチン接種のお知らせ

## 新型コロナウイルスワクチン接種について 3回目接種予約のご案内など

※事前予約はホームページからが便利です。お電話でも予約可能です▶078-277-3320

平日:08:30~20:00 土日祝:08:30~17:30

由 新型コロナウイルス専用健康相談窓口 078-322-6250(24時間受付 多言語対応)

●新型コロナウイルスの感染を心配されている方 ●予防・感染症に対する相談のある方 ●感染者と接触があった方

## 灘区制90周年 灘だんじり巡行 秋への延期決定!!

灘区政90周年を祝うことを目的として、灘地区7基の地車が初めて集結する記念巡行です。※開催日が決まり次第、ホームページでお知らせします。





# 1. 令和4年度予算と今後の市政運営について

■質問:吉田健吾  
コロナ後の神戸の将来を見据え、人口減少や少子・高齢社会など、社会経済状況の変化に起因する課題に対応しながら、前に進んでいかなければなりません。将来にわたって持続可能な都市経営をおこなっていくために、今後の市政運営における基本的な考え方について伺います。

■答弁:久元市長  
まず、一番大事なことは、目の前の危機、オミクロン株などの感染が拡大している中で、いかに抑え、感染された方々に対して適切な医療を提供し、必要なケアをおこなっていくということ。そして、コロナ後の経済社会がどのような姿になるのかということの思い描きながら、市民福祉の向上と神戸経済の発展を図っていくということが、大事な課題であると考えています。

コロナ後の社会は、命と健康の価値が高まるのではないかと思います。神戸が取り組んできた神戸医療産業都市の価値も高まり、その役割が重要になるということ、これを踏まえる必要があると思います。また、狭いエリアに人々が集まって暮らすという価値観が見直され、ゆったりとした環境の中で働き、暮らすことが尊ばれるようになる可能性があるのではないかと。神戸には、豊かな山、自然環境がある。そのポテンシャルを發揮させていくという視点が重要だと思えます。

したがって、令和4年度予算編成におきましては、コロナ対策、神戸の未来を担う人材への投資、神戸経済の活性化、神戸の豊かな自然環境の保全・活用などの分野におきまして、取り組みを加速させることとしました。

# 2. 王子公園の再整備について

■質問:吉田健吾  
王子公園再整備は、灘区内での久々の大型プロジェクトとして期待しています。ただ、再整備のコンセプトやゾーニングなど、市の考え方が十分伝え切れておらず、「再整備基本方針(素案)に対するパブリックコメント」では多数の意見が寄せられました。その多くはここに至る議論が十分ではなかったことに起因していると感じています。説明や議論の不足を強く指摘をさせていただきたい。その上で改めて、今回の再整備がどのような目的で実施されるのか、市長のご見解と本事業への想いをお伺いします。

■答弁:久元市長  
改めて今回の再整備の目的につきまして、丁寧に説明する必要がありますと考えています。これまで名谷、西神中央、垂水の市西部を皮切りに、駅周辺の再整備を進めてきました。市東部に位置する王子公園周辺は、文化、教育、スポーツ施設が集積する文教エリアとして発展し、**全市的にも極めて重要な地域**ですが、**公園内の各施設の老朽化**が進んでおり、そのポテンシャルが十分に活かし切れていないと考え、優先順位を高くし、投資をおこなうべく再整備に取り組むこととしました。

まず王子公園のシンボルである**王子動物園のリニューアル**に**取り組み、地域住民にとってよりよい再整備とするとともに**、利便性の高い**文教エリアの特性を最大限活かす観点から、大学を誘致**することとしました。

■質問:吉田健吾  
何大学が来るかわからない中で、本市にとって、灘区にとって大切なあの場所を、どうぞ使ってくださいと単純には言える問題ではないと思っています。**どのような大学が来て、どのようなことがなされて、どのような効果が、市民、区民、地域にあるのか。**その点について大学誘致の趣旨を踏まえて、伺います。

■答弁:久元市長  
神戸で若い世代が働き、暮らし、学ぶようなまちにしていく上で、**大学誘致は、非常に有力な政策手段**ではないかと考えてきました。まず、若年人口をさらに流入、定着させていこうという上で有力な施策であるということです。市内への就業人口の増加にもつながっていくはずですが。

もうひとつは、この王子公園のエリアは、大変利便性の高い文教エリアとしてのポテンシャルを備えているということです。イノベーション機能の強化、国際性、多様性の創出という意味での優秀な人材の確保、育成、輩出をする場として、ふさわしいのではないかと。

それから、大学の誘致は、地域商業などへの高い経済効果とにぎわいを創出する効果を持ち、地域活動への貢献という面も期待できます。神戸2025ビジョンで目指す、海と山が育むグローバル貢献都市の観点にふさわしい、**地域に開かれた競争力の高い大学を誘致**していきたい。

■質問:吉田健吾  
遊園地は廃止するという前提になっていますが、工夫次第では残すこともできると思います。

この地は、古くから**原田の森**と言われています。**全体を森と捉え、ゾーニングをぐるっと入れ替えると**、王子公園駅を降り立つと、エントランスゾーンがあり、森の入り口があり、摩耶山が背景にそびえ立っていて、左手には動物たちの森があり、森の遊園地があり、にぎやかな子どもたちがいる。右側にはスポーツの森があって、体育館やスタジアムがある。そして、それを進んでいくと、静寂の中に**学術の森**がある。こういった構図で考え直すことも、まだ私はできるんじゃないかと思えます。**ゾーニングの再考**について伺います。



■答弁:今西副市長  
王子公園再整備の方向性や土地利用、ゾーニング、さらには配置される施設の代替機能などについて、一定の見直しを図っていく必要があると考えています。

**大学には開放的な空間を求めていきたい**と考えており、駅前に位置するエントランスゾーンと一体的な空間とすることで、利便性の高い文教エリアのポテンシャルを、さらに高めることができるのではないかと考えています。

**スポーツ施設は体育館や弓道場が位置する北側に集積することで、スポーツ拠点として強化できる**と考えたが、今後どのような工夫ができるか、**駐車場の位置も含め、ゾーニングを再検討していきたい**。

遊園地につきましては、市民意見募集でも、「小さな子どもが遊べる遊園地は少ないのでなくさないでほしい」といったご意見も頂いておりますことから、公園内に子どもたちが遊べる場所は必要と考えています。**地域や利用者の皆様と対話しながら、考えてまいります**。

■要望:吉田健吾  
そこに住む人々、そこで商売をする人々のご意見を丁寧に聞いて、そして取り入れていただいて、説明をしっかりと尽くす。見直すところは見直す。こういった姿勢を持って、取り組んでいただきたい。

王子公園の再整備に関する情報→

# 3. 摩耶山の活性化について

■質問:吉田健吾  
六甲山グランドデザインにおいて、六甲山はアート空間やクリエイティブなオフィス空間、レジャー、体験型施設など、多くの人々が集い、にぎわう場所とされており、令和4年度予算にある歩道整備や、都心と山上の2拠点ワークスタイルの普及促進など、大いに期待しています。

一方で、**摩耶山は歴史や文化、自然環境を最大限に活用し、地元の裏山として親しまれています**。教育に資する施設が多くあり、令和4年度予算では、**自然の家のリニューアル活性化**に向けた再整備方針の策定費用が計上されています。社会教育施設であることから、収益性のみを求めめるのではなく、**市内学校園の自然体験活動の場**としての利用をさらに推進するべきであると考えます。また、一般も含めた**子どもたちや青少年がより集まる、学びの場**となるよう工夫が必要です。再整備方針と併せてご見解をお伺いします。

■答弁:小原副市長  
自然の家の活性化に向けて、サウンディング調査を行ったところ、立地上の優位性はある一方で、施設の老朽化や野外活動体験の充実が必要との点の指摘がありました。学校利用での子どもの自然体験の場としての機能を向上させるとともに、幅広く一般の子どもたちの学びの場となるように、再整備方針をまとめていきたい。また、事業者が主体的にプログラムの開発やアクティビティの充実が図れるようにしながら、引き続き**子どもたちに自然体験を提供できる魅力的な施設運営を目指したい**。

# 4. 児童館のさらなる活用の可能性について

■質問:吉田健吾  
子ども食堂、学習支援、ユースプラザ、ユースステーションなど、現在実施されている様々な居場所づくり事業は**全ての校区で提供されることが理想**で、児童館の活用の幅を広

げることが有効なのではないかと考えます。  
やりたいと思う児童館が手を挙げれば、それに対して積極的に支援をしてはどうか。**児童館の持つポテンシャルを引き出すことで、子どもの居場所づくりの充実を図ることができると考えますが、ご見解をお伺いします。**

■答弁:小原副市長  
現在、**神戸市において117館の児童館を設置**しています。子どもの居場所の実施にあたっては、実施場所の確保が課題の1つとなっていますので、児童館を居場所づくりの場として活用している事例もあります。また、一部の指定管理者の中には、中高生を対象として取り組みを広げていこうという動きもあります。  
今後は学童保育の状況や地域のニーズを注視しつつ、**幅広い年齢層の児童を対象とした事業を柔軟に行えるよう、独自の取り組みに対する支援について、検討してまいります**。

# 5. 令和の時代における学校業務と活動について

■質問:吉田健吾  
業務や活動の本来の目的の見直しや、役職や職種に応じた業務の標準化など、令和の時代における学校の業務と活動に関する方針が示され、高く評価しています。  
今後さらに検討や議論を重ねていくとのことですが、思い切った取り組みを期待しておりますので、教育委員会の意気込みとご見解をお伺いします。

■答弁:長田教育長  
今回の取り組みは、これまで長年にわたりまして、当然のものとして取り組んできた業務や活動が、そもそも本当に必要なものなのかどうか。また、必要以上に手間や負担をかけていないかどうかといった観点から、根本から見つめ直していこうとするものです。  
第一弾は、あくまでも今後に向けたスタートとなるものと考えており、第二弾以降の検討にあたりましては、学校や教員がどこまでの業務を担うべきかといったようなことなどにつきまして、令和4年度中に方針をまとめたいと考えています。今回の取り組みが実を結ぶものとなるためには、**教職員1人1人が主体的に、かつ積極的に業務や仕事の仕方や進め方を見つめ直し、言うならば1つの運動というようなものにしていくことが重要**ではないかと考えています。



# ずっといっしょ。まっすぐ未来へ。吉田健吾